



嵐山町は、昭和の終わりまで養蚕地域でした。かつては全国有数の地域として、ピーク時には1000戸を越える養蚕農家があり、まゆの生産量が多い農家も大勢いました。

時代は変わり、農業者の高齢化が進み新たな農業モデルとして、町ではビニルハウスを用いたほうれん草の施設栽培を積極的に支援しています。

ほうれん草は収穫後の鮮度落ちが早い消費地に近い栽培が有利です。首都圏という大消費地を抱える埼玉県は、生産量全国第2位のほうれん草の産地となっています。

町には、すでにほうれん草の施設栽培(年6回周年栽培)で成功を収めている農家があります。その方を指導者に迎えて新規就農者を育成する「嵐丸塾」を展開しており、現在、3名の塾生(研修生)が技術を学んでいます。

今日は、3名の塾生にインタビューを行いました。

まず農家を志した理由は

篠沢(以下、篠) 大学卒業後、都内で金融業等に携わった後、嵐山町に戻って塾の講師をしていました。幼いころから農業への憧れがありました。そんな矢先、町のホームページで偶然、嵐丸塾の記事を見つけ、生まれ育った嵐山町で

農業をやろうと決心しました。今から思うと運命的な出会いだったと思います。

中野(以下、中) 高校卒業後、調理師として働きながら、趣味で家庭菜園を始めました。家庭菜園でも採れたての野菜はとても美味しく、素材のすばらしさを感じて野菜作りに携わりたいと思い、農家を志しました。

安田(以下、安) 高校生のころから農業に憧れていましたが、安定を求めてIT企業に就職しました。しかし、農業は食の根幹であること、またゼロからモノを作り上げることに魅力を感じて気持ちが揺ぎ、埼玉県の就農相談会に参加しました。

安田さんは千葉県の生まれですが、嵐山町を選んだ理由は

(安) まずは、都心へのアクセスが良いのに自然が豊かであることです。私には養う家族があり、農業で稼ぐというテーマがあります。大消費地を抱えて勝負できること、それが魅力です。就農相談会で嵐丸塾を知り、また師匠となる愛澤さんにお会いして、ほうれん草は機械等の初期投資が少ないうえ、周年で



やすだ てるお
安田 照応
千葉県出身志賀在住。大学卒業後、大手IT企業に勤務するも、農家を志し本年6月に退職し、8月研修スタート。妻・子の3人家族 (34歳)

栽培できるため農地面積も少なくて済み、新規農家が成功しやすいモデルと感じました。そこで、一念発起して仕事を辞め、嵐山町に引っ越してきました。

入塾の決め手は

(篠) ほうれん草は周年で栽培できるため、リスク回避つまりやり直しがききます。農業で食べていくには、初期投資を抑えて収入を見込めることは大きな利点です。でも、運命の出会いを感じたことが一番です。これを逃したらもうチャンスはないと思いました。

(中) 入間市の研修先は露地野菜の多品目経営でした。多品目でいくか、絞っていくか迷っていたのですが、嵐丸塾を知ってほうれん草一本でいこうと覚悟を決めました。もちろん、生まれ育った嵐山町で就農できるというのは大きな魅力です。

ご家族の反応は

(中) 農業は良いことも悪い



しのざわ かずたか
篠沢 和孝

平沢在住。大学卒業後、金融・医療機器・塾講師を経て農家を志す。中国への留学経験があり語学に堪能。昨年10月研修スタート (44歳)

ほうれん草が軌道に乗ったら、パクチャーやパブリカといったおしゃれな野菜を作ってみたいです。中野さんのカフェにも提供しますよ。

(篠) まだ漠

問合せ 農政課 ☎59-6671

こともすべて自分に返ってくるのだから、覚悟をもってチャレンジしなさいと背中を押してもらいました。

(安) 安定した会社員を辞めて農業で食べていくわけですから、妻には心配をかけた。しかし、私の農業に対する本気の想いを理解してくれ、「ついて行く」と言ってくれました。妻の両親も最初は反対でしたが「やってみないとわからない」と農業にチャレンジする私を応援してくれました。妻も今は「子育てしながら、農業を学んで就農したい」と言っています。

これまでの社会経験が生き生きと感じるのはありますか

(篠) 学習塾で講師をしています。生徒の良いところを伸ばしてあげるように、野菜の特徴をつかんで良いところを伸ばしていくことは農業も一緒だと思います。

(中) レシピを思い浮かべな

がら収穫しています。調理師の資格を生かして、どんな食べ方が美味しいのか食の提案ができると思います。

(安) 農業をビジネス目線で捉えられるところだと思っています。まだ始めたばかりですが、コスト管理、出荷サイクルの最適化、儲かる農業の研究を進めていきます。

将来の夢は

(中) カフェを併設した農園をやってみたいです。農園採れたて野菜を私が調理して提供する、そんなメイドイン中野、中野ブランドを立ち上げたいです。そんな私と共に歩んでくれる人生のパートナーを募集しています。

(安) 夫婦2馬力で頑張っ



ゆうすけ なかの
中野 佑介

高校卒業後、趣味の家庭菜園が高じて農家を志し、婦恋村・入間市での研修を経て、嵐山町で就農を希望。本年3月研修スタート (29歳)

然とですけど、10年後にはビニルハウスが10棟あり、毎日出荷に追われる自分を想像しています。また、特技である中国語を活かしてビジネスできないか模索しています。

担当より

3人は夢の実現に向かって歩み始めています。それぞれ違った個性を持ったユーモラスな塾生達。嵐山町の農業を盛り上げてくれることでしょう。

この度、中野さんが作ったほうれん草が初出荷を迎えます。嵐山直売所にも出荷しています。ぜひ手に取ってみてください。今後、篠沢さん、安田さんのほうれん草を見かける機会が増えると思います。皆さん、温かい目で塾生達の成長を見守ってください。



『農家デビュー』を応援します

町では「儲かる農業」をキーワードに本気で「農家デビュー」を目指す方を応援します。ただし、ほうれん草の施設栽培で専業農家を目指す方限定です。ほうれん草で稼いでみませんか。

品目 ほうれん草の施設栽培(年6回の周年栽培)

対象 43歳までの農家(農業経験の少ない方)かつ、独立までに嵐山町内へ居住する方

募集人数 1名

募集期間 随時

研修期間 1~2年(独立まで)

(町内の専業農家から栽培技術を学びます)

研修農地 古里・杉山内

販路 市場出荷・直売所(研修で栽培したほうれん草は、自らの販売収入となります)

その他

- 研修資材 ビニルハウス・トラクター・播種機・保冷庫等の研修資材は町が用意します。
- 給付金 要件を満たせば、最長で7年間(年150万円)国の「農業次世代人材投資資金」の受給が可能です。

問合せ 農政課 ☎59-6671

一日限定の特別企画

ラベンダー苗を一緒に植えませんか

参加者募集します

千年の苑では、日本最大級のラベンダー園を目指し、ラベンダー苗の植栽イベントを行います。一日限定の特別企画です。ぜひご参加ください。

日時 10月13日(土) 10時~12時(雨天中止)

場所 千年の苑ラベンダー園(大字鎌形)

内容 ラベンダー苗の植付け(一家族10株程度)

対象 嵐山町民

定員 100家族(小中学生のいる家族を優先します)

※申込多数の場合は、抽選となります。

申込み 9月18日(火)までに農政課(☎59-6671)へ電話。住所・氏名・学年・電話番号をお伝えください。

その他

記念品(ラベンダー苗1株)を用意します。また、申し込みいただいた方には、別途詳細をお知らせします。

問合せ 農政課 ☎59-6671